

がんを明るく前向きに語る・金つなぎの会 会創設25周年を迎えて



会創設10周年の平成17年に、紀州・熊野大花火に協賛。『逝者鎮魂・生者安寧 祈念の海花火』を打ち上げ、「追善 金つなぎの会」の仕掛け花火を目の当たりにして、皆で抱き合って泣きました。
25周年のひとこまは、【金つなぎ思想】の根底に流れる逝友・生友への変わらぬ熱い思い。この思い、届けよ！ いついつまでも

今日、令和2年(2020年)7月19日(日)に、大阪から、奈良から、三重・松阪から、金つなぎの会有志が三重・猪の倉温泉に集い、会の機関紙『金つなぎNews(会創設25周年記念号)』の発送ボランティアができることを心から喜び、皆々さまとのご縁に、深く感謝いたします。

猪の倉温泉は、清少納言が『枕草子』に「湯は七栗の湯」と愛でたぬるりつるりの名湯です。25年前、この温泉の大会場に200名のがん患者が集まって、金つなぎの会・発足式が開かれたのでした。「会えて良かった!」、「体に傷を負った私が温泉に入れるなんて!」と互いに喜び合い、その様子を新聞社やテレビ局の皆さまがご取材くださって、熱気に包まれた集いとなりました。

当時、産経新聞事業部長の南市雄さんと白山町長・猪の倉温泉社長の故山岡瞳さんとのご縁のおかげで、休館日に開湯していただき、白山町役場の皆さまが総出で迎えてくださったことが、昨日のことのようになかなか蘇ります。

【難有り有難し】、本当に、ありがとうございます。

26年目も、これまで歩んできた「抗がん・難病勝ち抜きロード」の方向を見誤ることなく、病友がたとの堅い絆を大切に、会活動を続けてまいります。

皆さま、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

がんを明るく前向きに語る・金つなぎの会

代表 広野光子

理事 住井エイ 竹内節子 久保美恵子

平井喜美子 市田良子 東光枝

三田村光子 砂倉テル子 小林紀恵子

新型コロナウイルス（COVID-19）について

令和2年（2020年）3月から、世界はかつてないほどの新型コロナウイルスの蔓延に曝され、この風邪が当初から生物兵器（？）との情報がNetなどで拡散されたことに加え、今に至るもその正体が明らかにされていない、加えて医療施設の受け入れ態勢の不備、検査キットの不足、特効薬アビガンの処方確立していない…などが謂われ、私たちの不安は増幅し、一方、毎日発表される感染者の数を聞くたびに、病友がたの不安は懼れに変わります。事務局には毎日のように、この間の不安や恐れ、心身の不具合の訴えや相談が届きます。

日本の事例			更新日時: 7月18日 23:59 (現地時間)
感染者数	死者数	回復者数	
22,890	985	18,814	
内訳を表示			▼
世界全体の事例			更新日時: 7月18日 23:59 (現地時間)
感染者数	死者数	回復者数	
14,107,052 +269,657	602,657 +12,007	7,894,890 +156,071	
内訳を表示			▼

左の図は、7月18日現在の国内と世界の感染者と死亡者、回復者数です。国内では2万2890人が感染し、うち、1万8814人が回復していることが分かります。985人の死亡者の大部分は、基礎疾患を持った後期高齢者が占めている、とのことです。

世界全体では、1410万人超が感染し、789万人超が回復に至っています。

それに比べ、たとえば、世界最初のパンデミックと言われるスペイン風邪の感染者は、3年間に全世界で5億人を数え、これは当時の世界人口の4分の1に相当する、と記録に残されています（出典；Wikipediaほか）。

私たちは、いたずらに感染者数を懼れるのではなく、回復者が相当数おられ、そのうちの多数が新型コロナウイルスの抗体を持って治癒に至っていることを、見落としてはなりません。この安心情報を、なぜ、国は、専門家と言われる方々は、マスクは、解析してくださらないのでしょうか？

患者会としては、今に至るも専門家と言われる方々や厚生労働省がウイルスの全貌を明らかにされないことに強い不信を抱きます。 ですので、私たちはこののちも、【感染（うつ）らない・感染（うつ）さない】日々を、自助努力・身の丈サイズで勝ち取って、生きましょう！

猪の倉温泉での発送ボランティアについて

時節柄、少し説明しておきますが、猪の倉温泉は、消毒万全、屋内の湯室も露天風呂も、密室・密閉ではありません。この度の温浴療法を兼ねた機関紙の発送ボランティアは、施設側と綿密な打ち合わせの上、実施いたします。

新型コロナと言えども、私たちが氣力・体力を充実させ、なおまた日ごろから実践している転移・再発を招かない生き方や健康法を実践していれば、必要以上に恐れることは、ないのでは？とも考えます。

当日は、万全の取り組みで発送ボランティアを致します。皆さま、今後とも新型コロナウイルスを正しく恐れ、負けない闘いをいたしましょう！

金つなぎの取り組み



NTT西日本大阪病院（現・警和会大阪警察病院）の「がん・なんでも相談」は、毎回賑わっています



講演会「名張で学ぶがん医療」は、昨年未までに10回開催し地域の皆さまに喜ばれています

マスコミは現況について、「第2波の襲来か？」と憶測情報を流していますが、当初に比べ軽症の感染者が多く、「大都会(主に東京)の不心得な若者たち」への対策こそが待たれます。もちろん私たちも公序良俗に反する不心得な生き方は厳に慎まなければなりません。

金つなぎの会は当初から、「生き残る最後の一人になりましょう。そのように生きて、【誰かのために何かの出来る幸せ】を実感し、感謝して逝きましょう」と申し合わせて今に至っています。皆さま、自助努力、身の丈サイズ、五つの理念とモットー、五つの健康法、備えよ！つねに、をお忘れなく、明るく強く前向きに！

これからも良い企画を！

【企画委員】

藤山美和子（北海道） 角山優子（新潟） 片山かよ子（富山）
鎌田のり子（東京） 川口政代・梶野いづみ（以上2人は愛知）
西川宗賀・多田紀久子・北出恭子（以上3人は三重） 玉置須巳子
西尾利昭・諫本節子・高見美沙緒（以上5人は大阪） 井口政明（兵庫）

お知らせ

◆山中伸弥先生の講演会は、中止となりました



早くから皆さまとご相談していた、京都大学教授・山中伸弥先生をお招きしての講演会は、新型コロナ禍に全力で立ち向かわれる超過密な日々と本来のご研究のため、講演は一切受けないようにされました。まことに残念ですが、いつの日にか先生に時間がお出来になられたら是非に、と考えています。なお、病友の高代さんがつないでくださった「i p s細胞研究基金」（金つなぎHP・お気にいりリンク集）への寄金は、引き続き

どうぞよろしく願いたします。

◆名張市がん・なんでも相談 15 周年記念

金つなぎの会創設 25 周年記念

講演会

講師の先生や内容については決まっておきませんが、会場は以下のとおり確定しています。皆さま、今から来年のスケジュールに入れてくださいね

- ・とき 令和3年5月16日（土）
- ・ところ 名張市・a d sホール（定員 700名）